

活動報告書

報告日付:2022年4月14日

事業ID::2020555027

事業名:広島県尾道市における第三の
居場所(B)の運営(最終年度)

団体名:(福)尾道市社会福祉協議会

事業完了日:2022年3月31日

1.事業内容

第三の居場所の運営

(1)期間:2021年4月~2022年3月

(2)場所:広島県尾道市

(3)内容:「子ども第三の居場所」をつくり、そこで社会的相続を補完する。イベント行事や拠点に隣接する畑での農作業を通じて、子どもたちの経験の不足を補う。子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援する。

2.事業内容詳細:

対象学校の児童生徒に放課後から夜9時までの間、安心して安全に過ごすことのできる居場所を提供し、宿題の補助や読み聞かせ、体験プログラムによって学習支援を行いながら、ニーズに応じて食事を提供し、歯磨き、入浴に関する生活習慣の形成をサポートした。また、学校や行政等各種関係団体とのケース会議に参加した他、保護者への相談援助業務を行うことによって子ども達が安心して過ごせる「第三の居場所」外における育成環境の醸成にも寄与した。

3.契約時事業目標の達成状況:

【助成契約書記載の目標】

- (1)拠点利用児童の募集(2020年10月時点で9名が登録しているところ、2022年3月末時点で12名とする)
- (2)児童への居場所、食事、生活習慣支援、学習支援などの安定的な提供
- (3)ボランティア等の地域住民や行政、学校との関係構築
- (4)子どもの「経験不足」を解消するようなイベントを事業期間内に3回実施する。

【目標の達成状況】

- (1)2022年3月末時点で10名であった。対象校を1校から3校へ拡大し、対象児童の聞き取りを行ったが、いずれも利用には結びつかなかった。
- (2)安定的に提供できた。
- (3)コロナ禍で中止の時期もあったが、囲碁教室を月2回で定期的に行うことができた。また、もちつき大会も行政職員・小学校の先生・民生委員・区長会等関係者や地域の方々の支援で開催できた。行政との月1回の定例会はコロナ禍によりほぼ中止したが、市からの委託に向け協議を行った。学校へはコーディネーターが定期的に訪問するとともに、子どもの忘れ物や宿題の内容等をスタッフが電話で確認するなど、良好な関係が維持できた。新たに対象校になった学区内の子ども園と保育所に進入学1年生の聞き取りを行う等、良好な関係ができた。
- (4)のイベントについては、支援金事業で愛媛県伯方島へのキャンプと岡山市への公共交通機関を使っての社会見学を実施した。しかし、計画していた3回目はコロナ禍により実施できなかった。他のイベントは誕生日会、ハロウィン、クリスマス会、節分、六送会、オンライン学習会、囲碁教室、図書館訪問などを実施した。職員の実施により地域住民との関係構築を行った。